

看護部理念 あたたかい心のこもった看護、安全で信頼される看護を提供します。

認知症になっても笑顔で暮らそう

認知症看護認定看護師 5 A病棟看護師長

おおしろ ひろこ
大城 ひろこ

「最近もの忘れが多くなって。これって認知症？」と、よく聞かれます。単なるもの忘れや記憶の間違いは高齢になれば誰にでも起こります。しかし認知症の方の場合、体験そのものを忘れてしまうことが大きなポイントです。例えば、食事をした体験そのものを忘れてしまうため、食事をした後に、「自分は食べていない」と何度も言います。このような事で日常生活や社会生活の対応が困難になった状況を認知症と呼びます。

しかし、認知症になると何も出来ない、何も分からない、という訳ではありません。生活上での記憶の障害等を補うような援助やその方のペースや感情の



特徴に合わせたケアを工夫すれば、支障なく生活を送ることもできます。そうは言っても、いざ身近な方が認知症になったら困惑するのは当然です。決してひとりで悩んだり、抱えたりしないで、周囲に相談しましょう。地域包括支援センターやケアマネージャーさん、当院の「みなさまの相談室」なども相談窓口になります。

認知症の方、家族、そして医療・介護・福祉、地域が互いに協力し合って、認知症になっても笑顔で、希望を持って穏やかに暮らせるようなまちづくりに少しでも貢献していきたいと思えます。

